

10 連続型確率変数の平均と分散

確率変数 X の取る値の範囲が $a \leq X \leq b$, 確率密度関数を $f(x)$ とする.
このとき, 平均 (期待値) $E(X)$ は

$$E(X) = \int_a^b x f(x) dx$$

で定義され, 分散 $V(X)$ はとびとびの値をとる離散型分布のときと同様に,
 $V(X) = E((X - E(X))^2)$ で定義される. したがって,

$$V(X) = \int_a^b (x - E(X))^2 f(x) dx$$

となる. また, 公式 $V(X) = E(X^2) - (E(X))^2$ より

$$V(X) = \int_a^b x^2 f(x) dx - (E(X))^2$$

でも求められる.

また, 標準偏差 $\sigma(X) = \sqrt{V(X)}$ で定義される.

例題 10

確率変数 X の確率密度関数が $f(x) = 2x$ ($0 \leq x \leq 1$) で与えられているとき, X の期待値 $E(X)$ と分散 $V(X)$ を求めよ.

解答

$$E(X) = \int_0^1 x f(x) dx = \int_0^1 2x^2 dx = \frac{2}{3} [x^3]_0^1 = \frac{2}{3} \quad \dots\dots (\text{答})$$

$$\begin{aligned} V(X) &= \int_0^1 \left(x - \frac{2}{3}\right)^2 f(x) dx = \int_0^1 \left(2x^3 - \frac{8}{3}x^2 + \frac{8}{9}x\right) dx \\ &= \left[\frac{1}{2}x^4 - \frac{8}{9}x^3 + \frac{4}{9}x^2\right]_0^1 = \frac{1}{18} \quad \dots\dots (\text{答}) \end{aligned}$$

別 分散の公式の利用

$$\begin{aligned} V(X) &= \int_0^1 x^2 f(x) dx - \left(\frac{2}{3}\right)^2 = \int_0^1 2x^3 dx - \frac{4}{9} \\ &= \frac{1}{2} [x^4]_0^1 - \frac{4}{9} = \frac{1}{18} \quad \dots\dots (\text{答}) \end{aligned}$$